

福田町

地形概況

遠州灘に面する海岸平野の一部をしめ、太田川と今之浦川下流の三角州性低地である。東流する、坊僧川以南は砂堆と堤間湿地からなる。集落は砂堆や自然堤防上に立地する。太田川河口の福田港構築のほか盛土による造成が進んだ。

地質概況

太田川河口をはさんで沿岸は砂堆地が広く、砂層も厚い内陸には古い砂堆がある。閉塞による低地は泥層と砂泥層に区分されるが沖積層が厚く堆積する。ラグーンの地形が埋没して平野化した地域で、海成層も堆積していて軟弱地盤となる。

気象概況

年平均気温は 15.5°C(豊浜)と県内でも気温が高い地域で、特に冬は暖かく真冬日がほとんどないが、季節風が連続して吹くことが多い。年平均降水量は 1,944mm(豊浜)と県平均値よりも少なく、4月から8月にかけて約 1,000mm の雨が降る。

災害事例 地震

- 1944年12月7日(昭和19年) 東南海地震 M=7.9
県中・西部で被害大きく、当地の東部地区で全壊89戸、半壊42戸、本町地区で全壊135戸、半壊76戸、西部地区で全壊34戸、半壊約40戸、北部地区で全壊73戸、半壊約40戸の被害が出ている。また豊浜・福田などで田から砂や水が噴き出した。各地の震度は福田・五十子・於保で6~7、豊浜・下太・南田で6である。
- 1854年12月23日(安政元年) 安政東海地震 M=8.4
全県下に大きな被害を生じた。当地の状況は福田の駒場近辺はことに全壊家屋が多かったといわれ、また下大原でも村中皆潰れてしまい地蔵堂・郷蔵・土蔵ばかりが残ったといわれている。震度は福田・下大原とも7である。

災害事例 津波

- 1960年5月24日(昭和35年) チリ地震津波
南米、チリ沖の大地震による津波で、日本の太平洋に被害を生じた。豊浜で津波の高さは1.2mであった。
- 1944年12月7日(昭和19年) 東南海地震津波
三重県沿岸で大きい被害があったが、静岡県沿岸は比較的軽微で、当地の津波の高さは1.5mであった。
- 1854年12月23日(安政元年) 安政東海地震津波
全県沿岸に被害を生じた。古記録によると地震直後に津波がきたが、海岸での津波の高さは6m、太田川河口で3.5mであった。
- 1707年10月28日(宝永4年) 宝永地震津波
全県沿岸に津波が来襲したが、当地には、磐田に津波、死者940人、という記録がある。

災害事例 台風

- 1982年9月12日（昭和57年）台風18号
全県下に風水害があり、福田町の被害は床上浸水13戸、床下浸水577戸であった。